

お客さまへのメッセージ

取締役 上級執行役員
松岡 信行 (営業統括担当)

国際交流の拠点“北九州”から



私の生まれ育った門司港は、古くから欧州航路や大連・上海への大陸航路などたくさんの外国客船が入港し、国際貿易港として繁栄してきた歴史ある国際交流の拠点でした。

今年で市制50周年となる北九州市も、積極的に国際交流を進めています。モノづくりの街として公害克服の過程で培ってきた環境技術や、環境と経済を両立した都市づくりのノウハウを蓄積し、更にはJICA(国際協力機構)と連携してODA(政府開発援助)を活用し、民間企業とともに環境分野での国際協力へと繋げてきました。今年3月に発表された「北九州市新成長戦略」の中にも、海外ビジネス拠点や地域エネルギー拠点の形成を目指したリーディングプロジェクトが盛り込まれています。

JBグループでは、これまで中国(大連・上海・広州・天津)とタイに、そして今年は、シンガポールにビジネス拠点を開設するなど、アジア展開を進めており、また、太陽光関連、環境リサイクルなど環境分野への進出で、新しい市場の獲得を目指しております。

弊社においても、地域の環境保全と資源の循環型社会づくりへの貢献に向けて、産業廃棄物処理の中間処理から最終処分までを一貫管理する環境ソリューション(グリーンプラネットパック)の展開を進めて参りました。今年1月には環境省と国交省の共同事業である「港湾地域低炭素化実証事業」の採択をうけ、北九州港を舞台に事業を推進しております。この事業の成果をこれからの環境ソリューションの拡充につなげ、地場企業と連携をとりながらITを活用

して新しい付加価値を創出し、北九州市が推進する都市インフラビジネスの展開などに貢献していきたいと考えております。

世界の環境首都を目指している北九州市に本社をおくIT企業として、相応しい活動を展開していき、北九州市の更なる発展と成長に寄与していく所存です。



現在の門司港の風景(風師山より)

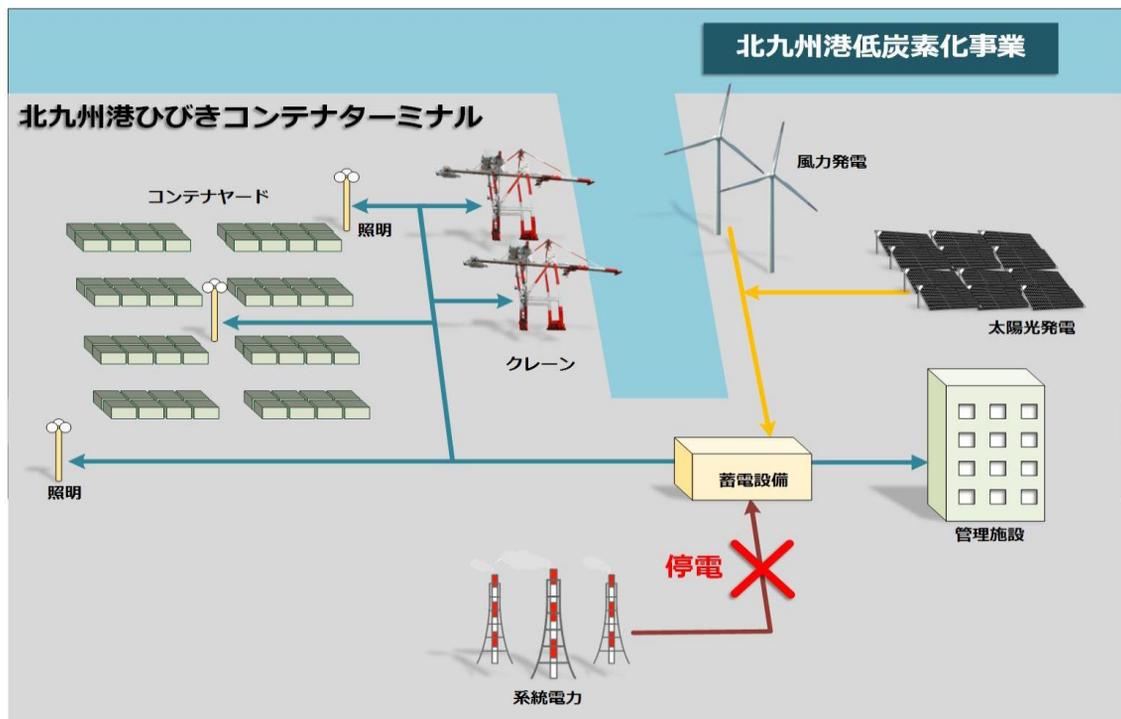
北九州港での実証事業に採択されました

環境省地球環境局・国交省港湾局共同事業「災害等非常時にも効果的な港湾地域低炭素化推進事業（実証事業）」の事業者に、ソルネットが採択されました。

<事業概要>

北九州港響灘地区で、新設する太陽光発電設備や蓄電池及び、隣接する風力発電設備を組み合わせ、港湾施設のコンテナヤードのクレーンなどを稼働させ、平常時の二酸化炭素の排出量を抑制し、非常時には、風力・太陽光発電施設から蓄電池に充電し、大型荷役機械、ふ頭照明施設等への安定的な電力供給を行うことで、港湾機能を維持するシステムについて実証を行います。

国交省によると、東日本大震災の被災地で停電のため港湾施設が使えず、救援物資を荷揚げできなかったことを教訓に立案された日本初の取組みであり、地震や津波の被害を受ける可能性のある港湾施設への波及効果が期待されるということです。



環境未来都市北九州で、地域に密着して環境ソリューションをご提供させていただいている経験と実績を活かし、JBグループ各社とも連携し、ITでの環境・エネルギーの課題解決を目指して、頑張っています。

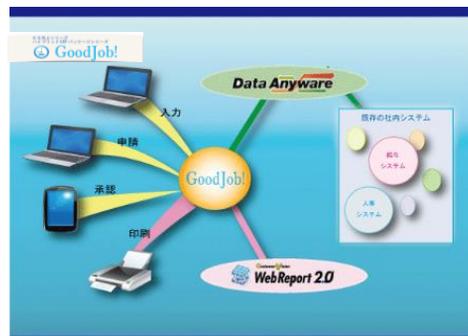


“Good Job !” – 就業管理システム –

弊社では「タイムリーな労務管理の実現」と「管理コストの削減」を目的とし、2012年10月に本番稼働致しました。

◆導入の背景

近年、弊社においては、“くるみんマーク”を取得し、子育て支援やワークライフバランスへ取組むなど、フレキシブルな勤務体系に対応しています。またES向上を図るため、社員の健康管理に十分配慮する必要性からも、タイムリーな勤務情報管理のシステム構築が必須の課題でした。



“Good Job”のシステム構成

◆就業管理システムのポイント

- 『多様なワークスタイル対応』 勤務パターンをシステムに登録することにより、簡単な入力で過勤務時間を自動計算できます。
- 『労務コンプライアンス適正化』 過勤務状況や有給休暇の取得状況など、様々な視点から勤務状況を把握できます。
- 『ワークフローによる内部統制』 過勤務申請/承認のプロセス標準化により、内部統制への対応と業務効率アップを実現します。
- 『BYODの推進』 いつでも・どこでも**スマートフォン**など、携帯端末からの入力に対応。遠隔地や外出先からの利用を実現します。(iOS・Android利用可)
- 『SOAによるデータの連携』 人事・給与システムなどとのデータ連携では、**“DataAnyware (※1)”**を利用することによりスピーディーかつシームレスな連携が可能です。
- 『BIツールでの分析』 **“WebReport (※1)”**を利用することにより、部門・月別の勤務状況の検索を簡単に行えます。

※1：JBソフトウェア



“Good Job”を開発した
情報システムのメンバー

◆あとがき

弊社では、社員の働き方が年々変化してきており、更に多様化していくものと考えています。そのような中でES向上のための就業管理における課題は当システムで解決し、より良いワークスタイルの実現に寄与していきたいと思えます。
(事業管理 情報システム)

Asset化 ⇒ Accelerateへ

2013年5月29日 SOLNET本社大会議室において、第8回パワーアップフォーラム（以下、PUFと略記）を実施しました。PUFにあたっては、品質マネジメントグループが半年間で実施したプロジェクト推進状況を確認しながら、部門と調整し、アセット化や社内でシェアしたい案件を選定し実施します。

今回も、106名の参加があり、今回の発表者は、全員が一度もPUFにて発表したことのないフレッシュなメンバーが発表いたしました。発表者の新たな面をみることができましたし、今までにない視点や工夫を凝らしながらの発表は、興味深く盛況のうちに行われました。

また、“技術報告”と“「スマートコミュニティ創造事業」の意義、成果及び今後の計画”という2つの講演も入れました。

技術報告は、現在のタブレットの普及やモバイル導入などのトレンド分析を踏まえ、ソルネットのフォーカス、現在のソリューションとの連携等の説明を行い、弊社の技術力を社内で共有化されたことで、今後のビジネスアプローチに対する確固たる自信を持ってお客さまにご提案できることをシェアできました。

また、「スマートコミュニティ創造事業」に関する説明においては、北九州市の取組みを通して、社会実証計画に関するガイドラインも含め、“活動のスタート～実証事業”の大変さについて詳しく触れたことで、今まで以上に身近に感じられ、この分野での取組みや弊社が取組んでいる環境分野への更なる可能性について感じる事ができました。

今後もこのPUFを継続し、社員のスキルアップを図り、お客さまへより良い、また、品質の高い製品をご提供できるように取組む一助となるようにしていきます。

(事業管理 品質マネジメント)

第8回 パワーアップフォーラム(H25年度上期大会) 2013年5月29日

agenda	案件名	発表者	部門
I. オープニング		横方	
II. 第一部 技術報告			
	「モバイル開発 いつやるか？今でしょ！～最新動向とSOLNETの取り組みについて～」	中田 一治	SOL開発部
III. プロジェクト完了報告会			
	備品管理(仮バウ)開発	中元 清貴	SOL開発部
	PC-LCM(新商材)の適用について (企画、提案～運用まで)	小堤 孝行	アビオ推進部
	税務関係システム運用支援業務	林 照久	公共公益 SOL部
	「建築事業支援プロジェクト」開発	川上 福二	フロントエンジニア SOL部
	質問時間		発表者
IV. 第三部			
	「スマートコミュニティ創造事業」の意義、成果及び今後の計画	小橋 徹	連携/ソリューション 推進室



第8回の発表者と一緒に

当日のスケジュール

お客様中心の活動を！

私たちが所属する“お客様センター”は、その名前の通り『お客様を中心（センター）』とした活動を展開しよう！という方針で、今年度より営業部門内に設立された新しい組織です。

当センターでは、これまで以上にお客様に十分なお満足を届けられるよう、『より極め細やかに、よりスピーディーに』というスローガンを掲げ、お客様へのご支援をメンバー全体で行える体制を整えました。

これまで以上にお客様との会話の機会を増やし、お悩みが解決できるようにさまざまなご提案をよりスピーディーに行い、また、きめ細やかな気付きや対応を営業活動にプラスし、多くのご満足と元気をお届けすることで、お客様を全方位からサポートさせていただきます。新たに加わったメンバーも積極的にお客様のところへお伺いさせていただきますので、ぜひともお気軽にお声をお掛けください！

これからもメンバー一丸となって、お客様のお声を大切にし、お客様に見える活動を進めて参りますので、今後ともご愛顧のほどを宜しくお願いいたします。

(お客様センター 奥田 文男)



山口、河上、佐藤、中山、奥田、畠山センター長、平野、高椋、大西、田中、安河内

～お客様への Message～

あるお客様曰く、ニコニコな超DMらしいです(^^) 八幡計算(株)のころから頑張ってます！きゃっ、年が…((+_+)) 山ジュー57才です！朝も早から元気ハツラツ～！！ パッケージソフトの導入&サポートはお任せ下さい(^_^)/ 何か困った時はいつでもお気軽にご相談ください(#^.^#) 丁寧な対応で、明るい笑顔と商品をお届けします！ 課題解決を全力でご支援させていただきます！！ お客様にご満足頂けるよう迅速な対応を心掛けます(^^) 「慎重かつ大胆なご提案を！」あれ？どこかで聞いたセリフだ…(笑) “この商品ほしいな”と思ったら、まずは平野まで♪ 僕の得意技ですか？「心を鷲掴み！」ですっ！

by 畠山 佳明
by 田中 好美
by 山口 正
by 高椋 美恵
by 中山 孝
by 大西 阿紀
by 河上 二郎
by 安河内 真紀
by 奥田 文男
by 平野 志保
by 佐藤 大樹



見えないものこそ大事なものの

「どうだった？ 今日の見学は。」 「いやあ、ほんとにすごかった。びっくりしたよ！」

初めて担当させていただくお客さまの職場で業務を見学した社員や、参考になる取組みが行われている現場を視察した社員が帰社すると、周囲のメンバーも仕事の手を止め、身を乗り出して話に聞き入ります。

通常、システム化を行うときは「業務手順書」や「業務フロー」などを利用し、業務の全容を把握します。どちらも文章や記号などを使って作業やモノの流れを整理しているもので、抜け漏れさえなければ、これをもとにシステム化を行うことは難しくありません。しかし、こういった設計書だけでは見えないものもあります。

ひとつは、お客さまと並んでお客さまと同じものを見、同じ空気を感じることでのみ得られる「共通認識」。もうひとつは、実際の業務に向き合うお客さまの姿勢を間近で見ることにより、業務に対してお客さまが持っている熱い想いを共有できる「共通感覚」です。どちらもシステムの品質やお客さまのご満足度を左右する要素として、大変重要なものです。

弊社は創業から数十年、製造業のIT支援を中心に行ってきました。それは、製造の現場で実際の業務を目の当たりにし、すべてを共有しながら、お客さまと力を合わせて業務のレベルアップを目指すという素晴らしい経験でした。こうした経験の積み重ねが、いつの間にか、“お客さまについてもっと知ろう！”という社員の姿勢を育んだのではないかと思います。

「画竜点睛を欠く」と言います。私たちのご提供するシステムやサービスは、お客さまの思いという「睛（ひとみ）」を入れるまで本物にはなりません。天に昇った龍のように、常に本物を目指して努力を続けなければと、改めて強く心に刻みました。(Y.N)



編集後記

ゴ・ミゼロ(5/30)の日、北九州市東田地区の“クリーンアップ大作戦”に参加しました。活動エリアは整備の行き届いた美しい地区ですが、目を凝らすと花壇に咲く花の根もとにはたくさんの“タバコの吸殻”があり、普段の自分が気付けていないことを痛感しました。

自然との共存によって成り立っている私たちの暮らし。その自然を壊すのも守るのも、私たち次第なのであれば、せめて身近な街の花壇で育つ草花たちの成長は、守ってあげたいなあと思えたとても貴重な時間でした。(K.K)

